

What's New

使ってみよう！ 「長野県版外来種対策ハンドブック」

アライグマ、アレチウリ、ウチダザリガニ、キショウブ…これらは全て、長野県にいる外来種です。なかには、日本の生き物を脅かし、森や草原の風景を変え、農産物や水産物に被害を及ぼすものもあります。そこへついに、「長野県版外来種対策ハンドブック」（長野県自然保護課作製）ができました。増えていく外来種に対し、どのような行動を起こしていけばいいのか、具体的に示したものです。

下のQRコードから自由にダウンロードできます！



なにが載っているの？

長野県の生態系や産業への影響が大きい30種について、生態や見分け方、駆除適期、定着段階に応じた対策が載っています。他にも、なぜ外来種を駆除しなくてはならないかという考え方や、県内の分布状況などもまとめてあります。

さらに通な方へのお勧めは、オンライン限定公開「ハンドブック付録」です。付録には、ハンドブック作製に用いた「長野県版生態系被害防止外来種リスト」や主要対策30種の生態や駆除方法を記した文献を紹介するなど、より詳しい情報を知る「入り口」の役割を持っています。

どうやって使うの？

ハンドブックをまるごと印刷し、地域の講習会に使うこともできますし、親子で眺めてみるのも楽しいです。

掲載した主要対策30種は、種ごとに裏表1枚にまとめてあるため、1種だけを作業現場に持ち出すこともできます。興味や活動に合わせた、自由な使い方をしてみてください。

環境保全研究所 監修です！

このハンドブックの制作には、研究所の全面協力を得ています。연구원さんには、貴重な動植物の写真や分布情報の提供や、掲載情報が正しいかどうかをチェックをしてもらいました。あるページには、연구원の方がこっそり登場しているので、ぜひ探してみてください。

(黒江 美紗子／長野県自然保護課)



図鑑のような表ページ



裏ページは対策方法